

cloudpack 杯 第 5 回 ICT トラブルシューティングコンテスト
受賞者感想レポート

最優秀賞 チーム MWC (早稲田大学)

=== 宇田川 海斗 ===

はじめてトラブルシューティングコンテストの参加募集案内をみたとき、障害の解決には、技術に対する深い理解が不可欠であることから、このコンテストは、ICT 技術への理解の深さを試せる場であると感じました。実際、コンテストでは、高度かつ応用的な技術が数多く採り上げられており、自分の持つ断片的な知識だけでは、到底設定することのできない問題ばかりでした。しかし、大学の講義や教科書で学んだ原理・原則に基づき、問題のあるべき解決法についてチームメンバーとディスカッションしたり、得られた解決法の内容に基づいてシステムの設定内容を調べたりすることで、知らない技術が用いられていた問題でもなんとか解くことができました。さらに、初参加ながら最優秀賞という名誉ある賞をいただき、本当に嬉しく思いました。これまで学んできたことが、ちゃんと ICT 技術への理解となっていることがわかり、大変意義深い賞であったと感じております。

最後になりましたが、実行委員の多大なるご尽力や協賛企業のスポンサーシップにより、このような素晴らしい大会を開催していただき、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

=== 笹生憲 ===

トラコンについては、前から知ってはいたのですが、今回はじめて参加することができました。コンテストの対策をしたり、大会当日や懇親会などとても楽しい時間を過ごせました。今回、運営が用意していたネットワークはとても勉強になったのと、運営のトラブルシューティングが鮮やかでとても良かったと思います。運営の皆様ありがとうございました！

=== 志賀遼太 ===

今回、チームメンバー全員がトラコン初出場でした。そのため、開始直後は勝手が分からず、何をすれば良いのかも分からない状況でしたが、途中から段々と慣れてきてチームメンバーがそれぞれ出来そうなことを共有しつつ、協力して取り組みました。

また、結果としても最優秀賞という有り難い賞を頂いたので嬉しく思います。
運営の方々、協賛企業の方々、ありがとうございました。

=== 飯田雄太 ===

初めての参加ということで、どのような問題が出るのか正直のところ不安でした。
実際、問題内容は多岐にわたり、どうやってトラブルシューティングしたら良いのか
始終頭を悩ました。

一方で、自分の知らない技術を知ることができたりして、大変勉強になりました。

そして何より、競技に楽しんで臨むことができました。

今回の大会では、チームメンバーに助けられた部分も大きく、

自分の勉強不足を感じるとともに、とても良い刺激をもらいました。

また、参加できる機会があったらさらに実力をつけ、競技に挑みたいです。

本大会を通して学んだことは多く、運営の皆様にはとても感謝しています。

cloudpack 杯 第 5 回 ICT トラブルシューティングコンテスト
受賞者感想レポート

優秀賞：チーム WAN PUNK MAN'S（東北電子専門学校）

===川原 優===

今回で 2 回目の参加で、結果を残すことができ、とても嬉しく思っています。
私は主にネットワーク関係の問題を担当しておりましたが、問題の作り方が非常に
上手くなかなか問題を解くのに苦戦しました。
次回も結果を残せるよう、サーバーなどにもふれ、技術を向上していきたいと思えます。
また、このような機会を設けていただいた全ての人に感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

===芦野 光===

私自身初参加で緊張していましたが、結果優秀賞をいただく事ができ非常に嬉しく思いま
す。仲間と協力して 1 つの問題解決に取り組むという、日頃味わう事のできない貴重な体
験をさせていただきました。
また、多くの企業の方や学生と交流を深める事ができました。
今後も、トラブルシューティング力を向上させるために日々努力してまいります。
2 日間ありがとうございました。

===齋藤 美香===

私は今回初めての参加でしたが、正直不安の方が大きかったです。
本番になると、2 日間はあっという間でした。私の活動はネットワークの疎通確認程度でし
たが、出来る限りの事はできたと思います。
今回はチームのみんなの頑張りで優秀賞を頂く事ができ、本当に私は運が良いと思いま
した！次回参加するならば、もっと実力をつけて挑戦したいです。

===門脇 優貴===

今回、私自身は二回目の ICTSC 出場で、リーダーとして参加させていただきました。
チームの成績として、優秀賞という結果を残すことができ、とても嬉しく思っています。
この度の ICTSC5th では、サーバー系の問題だとしてもネットワークの知識が必要になっ
ていて、チーム全体で協力できる場面が多かったような気がします。
その中で、どこまで探せたのか等の情報共有を各自できた事が最終的に功を奏したのかも
しれません。
次回はどのような形での参加になるかまだわかりませんが、今回自分に足りなかった部分を

反省し、よい結果を残せるよう更なる技術力の向上に努めていきます。

最後に、協賛企業の皆様、実行委員の皆様、そして運営委員の皆様、大変貴重な機会をありがとうございました！